

令和 7 年度三重県サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者実践研修カリキュラム

科 目	内 容・目 的
1 障害者福祉施策の動向（講義）	・障害者福祉施策の動向について理解することで、利用者の置かれている制度的環境の変化を認識する。
2 モニタリングの方法（講義・演習）	事業所のモニタリングについて、サービス等利用計画との連動性を念頭に置きながら、モニタリングの視点・目的・手法等について講義により理解する。事例を通じて、モニタリングの演習を行い、その手法を獲得する。
3 個別支援会議の運営方法（講義・演習）	・個別支援会議の意義、進行方法、会議において行うべき事項（個別支援計画作成時、モニタリング時）等について講義により理解する。 ・個別支援会議における合意形成過程について、模擬個別支援会議の実施体験演習を通じて、サービス管理責任者としての説明能力を獲得する。 ・模擬個別支援会議の体験をもとに、個別支援会議におけるサービス管理責任者の役割についてグループワーク等により討議し、まとめる。
4 サービス提供職員への助言・指導について（講義・演習）	・サービス提供職員への支援内容、権利擁護・法令遵守等に関する確認や助言・指導を適切に実施するための方法等について講義により理解する。 ・講義を踏まえて、受講者が事業所において実施している助言・指導業務について、グループワーク等により振り返るとともに、今後の取り組み方について討議する。
5 実地教育としての事例検討会の進め方（講義・演習）	・事例検討会の目的、方法、効果等について講義により理解する。また、事例検討会の実施がチームアプローチの強化や人材育成にも効果を有することを理解する。 ・受講者が持ち寄った実践事例をもとに、事例検討会を行うことで、事例検討会の進め方を習得する。

<p>6 サービス担当国会議等におけるサービス管理責任者の役割（多職種連携や地域連携の実践的事例からサービス担当国会議のポイントの整理）（講義）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種連携や地域連携の実践事例を活用し、サービス担当国会議等におけるサービス管理責任者の役割（相談支援専門員との連携や関係機関との連携方法）について理解する。
<p>7 （自立支援）協議会を活用した地域課題の解決に向けた 取組 （講義）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・（自立支援）協議会の意義、目的、活動内容等について理解する。 ・サービス管理責任者の業務を通して見出される 地域課題を解決するための（自立支援）協議会の活用について実践報告等により学ぶ。
<p>8 サービス担当国会議と（自立支援）協議会の活用についてのまとめ（演習）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス担当国会議や（自立支援）協議会に関する講義を踏まえ、多職種連携や地域連携の重要性、意義、ポイントについてグループワーク等による討議を 通じて 、連携のあり方についてまとめを行う。